

便利さの裏側

江田島市立三高中学校3年 森 泰智

今の社会はとても便利な社会です。例えば、ボタン一つで様々な料理を作ってくれる電子レンジ、遠くから操作することのできるお風呂やエアコン、そして最も便利な道具といえば、「スマートフォン」でしょう。大人はもちろん、中学生や高校生の多くが利用しています。スマホにはどれだけ離れていても電波が届く限りは連絡ができたり、楽しいゲームができたりします。

しかし、スマホには多くのデメリットもあります。大きな社会問題にもなっている、ネットを使った「いじめ」です。スマホなどの SNS やメッセージアプリを使って、特定の人への悪口を書き、友達同士で共有し、学校で無視をするように仕向けたりすることがあります。それは、周りの大人や先生にも、本人にさえも気づかれないうちに、進んでいきます。さらには、ネット上に悪意のある個人情報を流出されてしまうこともあります。このようないじめは、周囲の人が気づきにくく、誤解であってもそれを解くことは難しいです。なぜなら、一度上げられた情報が知らない人にも渡っているからです。さらされた個人を、知っている人であるならば、本人に確認をしたり、嘘だとわかったりすることができます。けれども、知らない人は、たとえそれが嘘の情報であっても、信じてしまうかもしれません。

さらに、SNS を使った、悪口・誹謗中傷の問題もあります。誹謗中傷とは、相手の人格や名誉を傷つけることです。インターネット上に挙げられた誰かの投稿に対して悪口を書き込んだりして、多くの人が個人を攻撃する場合があります。これは、普段の生活の中でも生じる悪口やからかいよりもたちが悪いと思います。僕の住んでいる地域は、人が少なく、学校も小学校、中学校一校ずつしかありません。だから、友だちはみな、十年以上の付き合いです。しかし、仲が良すぎて、汚い言葉やからかいも普通にあります。僕も使ってしまうことがあります。でも最近になって、これはおかしいのではないかと思い始め、悪口の飛び交う環境は苦しいなと感じるようになりました。今は、人を傷つけるようなことを言ってしまったときは、すぐに謝るようにしています。僕は目の前で自分自身に悪口を言われた時も、とても苦しいです。苦しいですが、目の前で起こったことは、相手の表情を見ることもできるし、こちらも反応することができます。インターネット上で起こった場合はどうでしょうか。ネットでは、確かに相手はいるのですが、相手の表情も分からないし、人柄も分かりません。面と向かって言われることでさえつらいのに、見えない相手から言われたら、言葉だけが心に突き刺さり、もしかしたら、死んでしまいたいと思って

しまうかもしれません。僕には耐えられないかもしれません。

また、ネットを使った犯罪も多くみられるようになってきています。「ネット詐欺」や「闇バイト」です。最近のニュースで「ルフィー」と名乗る人がネットで、実行犯を募集していたことがありました。指示をしたと思われる人も実行犯も、警察に逮捕されていますが、これは氷山の一角でしかありません。簡単な仕事で大金を手に入れることができるとだまされ、大学生や高校生、中学生たちも多く巻き込まれています。ネット詐欺も巧妙になり、調べ物をするためにあるサイトを開くと、知らないうちに全く別のサイトに誘導され、お金を要求されることがあるそうです。ニュースでは毎日のように、「進化」する事件や、犯人が捕まったなどと報道があります。そして、どんどん新しい犯罪の手口が生まれ、巻き込まれる人も低年齢化しています。僕たち中学生も、犯罪に手を染めてしまうかもしれません。自分は大丈夫と思いこまず、スマホを使う際は、ルールを決めるなど、自分自身の身を守る対策をしなければなりません。

僕はまだスマホを持っていないので、スマホを使った犯罪と聞いても他人事のように感じる場合があります。しかし、将来的には僕もスマホを利用する時が来ると思います。その時には、便利さの裏側にある落とし穴をしっかりと認識し、対策をして、今自分のしていることは本当に正しいことなのかと気を付けていきたいです。そして、多くの方がより良い使い方をしていくことで、いじめのない、犯罪に巻き込むことも巻き込まれることもない、楽しく、安全で安心な世界になってほしいです。